

(様式例2)

平成25年度 自己評価・学校関係者評価 (防災環境)

岐阜県立可茂特別支援学校

学校番号 112

I 自己評価

1 学校教育目標	一人一人の子どもの発達や障がいに応じて、もっとも必要で適切な教育活動の創造に努めるとともに、すべての子どもたちが主体的に力一杯伸びていくため、きめ細やかな指導や必要な支援の充実を目指す。		
2 評価する領域・分野	◇防災環境部 (防災、施設・整備)		
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	『緊急時の対応』については93%、『施設・設備の安全管理』についても92%。保護者からはなかなかの評価を得ている。一方で継続して防災体制の整備、防災教育の推進を行うとともに、施設の管理、整備をより充実させていく必要がある。		
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇児童生徒の環境教育 (全校清掃) と月1回の職員美化の日の徹底 ◇児童生徒に合った防災教育の工夫と職員・保護者に対する防災研修の実施 ◇学校防災マニュアルの見直しと、各地域 (各区役場、牧野地区自治会) との連携		
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・全校清掃の実施 (交流清掃も含む) ・防災教育教材の開発と各種研修の実施 ・防災教育推進委員会の設置と各市町村役場との連携 		
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
<ul style="list-style-type: none"> (1) 全校清掃の計画、実施 (2) ショートの命を守る訓練の実施 (3) 防災教育推進委員会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 児童生徒が安全に気持ちよく生活できる校内であったか。 (2) 児童生徒が訓練時に正しい対応をとることができたか。 (3) 外部委員を呼んでの防災教育推進委員会が開催できたか。 		
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価	
<ul style="list-style-type: none"> ・全校清掃、全校清掃での交流活動ができたか。 ・ショートの命を守る訓練などの実施した。 ・防災教育推進委員会を開き、校内の防災体制、防災教育に関して指導、助言等をいただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ①計画的全校清掃、交流活動ができたか。 ②ショートの命を守る訓練などの防災教育が行われたか。 ③市役所や地域などと防災に関する関わりもつことができたか。 	<p>A (B) C D</p> <p>(A) B C D</p> <p>A (B) C D</p>	
11 成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ○継続した清掃活動で校内を清潔に保つことができた。 ○ショートの命を守る訓練などを計画的に実施できた。また、個々に応じた防災教育が各学年で行われている。 ○各市町村の防災関係者と連絡し、非常変災時の連携を約束した。 ▲全校清掃の交流に関して計画的に進めていく必要がある。 ▲継続して行われるよう防災教育を年間計画に位置づけるなどの工夫する必要がある。 		<p>総合評価</p> <p>A (B) C D</p>
<p>12 来年度に向けての改善方策案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校清掃の実施。高等部清掃サービス班や事務部との連携。児童生徒の清掃場所の割り振り。 ・職員防災研修の継続。防災教育に関する職員の外部研修への参加。防災教育の年間計画への位置づけ。 ・防災教育推進委員会の継続。地域住民などとの連携、交流。保護者向けの防災研修の開催。 ・食料、薬等学校内での備蓄品の検討。防災マニュアル見直しの検討。 ・分掌内の組織等の再編成。職員の仕事分担を明確化。 			

II 学校関係者評価

- ・今年度の実践は、とても評価できるものであった。今後とも地域に向けて、防災について大いに発信して行って欲しい。
- ・地域住民の認識は、とても低いのが現状であり、自治会としても本校の防災に習って啓蒙していきたい。